

# 菟田野小だより「桜梅桃李」

No.6

令和4年 6月17日(金)

(<http://www.utano-e.ed.city.uda.nara.jp/>)

## 6年生へ ヒロシマの心(1)

例年なら6年生は修学旅行で広島に行き、77年前に広島で何があったかを自分の「目で見」「耳で聞き」「手で触れ」て確かめ、不戦の決意を強くするのですが、コロナ禍により今はかないません。しかし、現地に行けなくても“ヒロシマの心”を受け継いでほしいと思い、平和について考えるきっかけの一つになればと、広島にあるスポットを紹介しながら今号から2回にわたって掲載します。



広島市の平和公園内にある原爆ドームと原爆慰霊碑。この二つの建造物を結ぶ直線は、“平和の軸線”と呼ばれています。この言葉は、日本作品として史上初めて、米アカデミー賞の4部門にノミネートされた映画「ドライブ・マイ・カー」で、台詞として用いられ注目されました。

“平和の軸線”を考えたのは、建築家の丹下健三氏です。原爆ドームは当初、取り壊されることも検討されていましたが、丹下氏は平和公園の設計に際し、原爆慰霊碑の先にドームが見えるようにしました。被爆した建物を、二度と核兵器を使用しないためのシンボルに変えたのです。平和は訪れるものではなく、自分から創り出すもの——。これが丹下氏の平和に対する態度でした。だからこそ、被爆の悲惨な記憶を継ぎ、人々がそれぞれに平和を望み、祈ることを大切にしました。

過去と未来—両者を結ぶ“軸線”を描くのは、今を生きる私たちだと思います。核兵器の廃絶も、どこか彼方にあるのではありません。私たちの意思の線上にあるのです。

縁する人と友好を育むことで、平和の“線”を描き出します。その線が幾重にも結ばれてこそ、世界平和という“面”が浮かび上がるのではないのでしょうか。(その2へ続く)

## 2022「人権を確かめ合う日」テーマソング

本校では、毎月11日を「人権を確かめ合う日」として、さまざまな人権に関する話を聞き、今年度は“BE ONE～ぼくらにできること～”というテーマソングを歌っています。

この“BE ONE～ぼくらにできること～”は、手話でも紹介されており、特に「僕らにできる事がある 小さくても一つずつ 未来はきっとあるから」という歌詞は、この混沌とした時代にあって勇気づけられる一節です。一度お家でも聞いてみてください。

こういう取組を通して、いろいろな人権問題について触れ考えることで、自分も友達も大切にすることが大事だということを感じ取ってほしいと思っています。



## 今年も咲きました！

昨年、学校通信で紹介した花が、今年も咲きました。花の正体は・・・

- ①スカシユリ的一种
- ②花は直径10センチぐらいで、6月～7月に開きます
- ③学校の中庭に咲いています(いました)

花言葉など、他にどんな特徴があるか、みなさんも調べてみてくださいね。

